

## はしがき

本学会の第22回大会は、2010年11月27日（土）、大東文化大学板橋キャンパス中央棟「多目的ホール」で高沢修一会員を大会幹事として行われた。シンポジウムのテーマは「市民公益税制の検討」であった。後藤和子会員より「グローバル時代の NPO / 寄付税制——国境を越える寄付とグローバル・タックスの視点から——」、高沢修一会員より「CSR 会計導入に伴う環境税創設の提言——市民社会のインフラ整備に求められる企業活動の公益性——」、石村耕治会員より「非営利公益団体課税除外制・公益寄附金税制の根拠をさぐる——日米における所得課税上の分析を中心に——」の諸報告が行われた。

右の諸報告を受けて、活発な討論が行われた。

また、同年11月25日の税制調査会に提出され、翌12月16日に閣議決定されて2011年度税制改正大綱に盛り込まれた「納税環境整備 PT 報告書」に対し、2010年12月24日、石村耕治会員を委員長とする本学会の納税者権利憲章問題検討委員会から、「税制調査会納税環境整備 PT 報告書に対する意見書」が公表された。

本号は、以上の報告と討論、意見書を収録するものである。

2010年6月17日に、本学会の税法学部門の設立発起人であった北野弘久元理事長（日本大学名誉教授・弁護士）が急性骨髄性白血病のため逝去された。また、2011年3月11日の東日本大震災では、多くの方々が被災され犠牲者となられた。謹んで哀悼の意を表したい。

次号は「大震災と税制」である。

2011年4月

日本租税理論学会事務局